

## ストーリーの構成文化財一覧表（豊後高田市）

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
B-1	まがいぶつ 熊野磨崖仏	国史跡 国重文	巨岩に浮き出るように彫られた磨崖仏。柔和な顔の不動明王は、見上げる人々に安心感をもたらす。	豊後高田市
B-2	鬼が築いた石段	未指定	熊野磨崖仏へと進む自然石の石段は、鬼が一夜にして築いたとされる。	豊後高田市
B-3	胎蔵寺 	県有形 (懸仏)	大きな鬼会面を持つ。かつては今熊野寺と呼ばれ、修験者を多く抱える修行の寺であった。	豊後高田市
B-4	田染荘熊野の農村景観	未指定	熊野磨崖仏を厚く信仰する集落。対面には大穴のあいた岩があり、そこに棲む鬼が石段を築いたという伝承が伝わる。	豊後高田市
B-5	木造不動明王立像 (真木大堂)	国重文	一木造の像としては国内最大級の不動明王。平安後期の丸みの多い像容で、見上げると優しい顔立ちに見える。	豊後高田市
B-6	田染荘小崎の農村景観 (夕日岩屋・穴井戸観音)	国重文景	岩峰上の修行場・夕日岩屋から荘園の景観が一望できる。また、その麓の穴井戸には鬼が封じ込められた伝承がある。	豊後高田市
B-7	元宮磨崖仏	国史跡	中央の不動明王は穏やかな表情をしており、鎮守・元宮八幡神社脇で人々を優しく見守る存在である。	豊後高田市
B-8	元宮八幡神社	未指定 (遺跡)	拝殿の大絵馬には、雨乞い「川勧請」の様子が描かれるが、その行列を先導したのは鬼であったと伝わる。	豊後高田市
B-9	鍋山磨崖仏	国史跡	丸顔で優しい不動明王は、村人にとっては古代からの水源鍋山イゼを見守る存在でもある。	豊後高田市
B-10	西叡山	未指定	古代の頃の六郷満山の筆頭寺院。高山寺という寺院からの眺望は西国東の峯々を一望できる。	豊後高田市
B-11	いわきじ 岩脇寺 	未指定	耶馬上に細い峯道が形成されており、磨崖仏は集落を見下ろす位置にある。江戸前期の鬼会面が大切に保管される。	豊後高田市
B-12	ふきじ 富貴寺	国宝 国重文(壁画・仏像) 国史跡	大堂は内部に極楽浄土を再現した六郷満山の仏の世界を象徴する建築。奥ノ院の岩屋が残される。	豊後高田市
B-13	木造仮面 (御修正会面) 	県有形	国東半島最古の面。久安3年(1147)の銘がある。修正鬼会で鬼を呼び出す「鈴鬼」の源流にあたとされている。	豊後高田市
B-14	智恩寺	県有形 (国東塔) 市史跡	昭和中期まで修正鬼会を執り行っていた講堂が残っている。現在も修正会として伝事を実施する。	豊後高田市
B-15	春日神社 	国登録有形 市有形 (潮汲絵巻)	草地地区の雨乞い「潮汲み」の行列を鬼が先導する様子が描かれる。	豊後高田市
B-16	木造太郎天立像	国重文	六郷満山を象徴する像。不動明王の化身とされるが、子供の姿で表され、優しく修行僧を見守る神でもある。	豊後高田市
B-17	長安寺 	県史跡	西国東最高峰・屋山に開かれた寺院。中世・六郷満山文化の中心的な役割を果たしてきた。多数の鬼会面が飾られる。	豊後高田市

B-18	きしろ 鬼城耶馬	未指定	屋山後背に広がる岩峰群で、上部にあいた大穴には鬼が棲んでいると言いつたことから「鬼城」と呼ばれる。	豊後高田市
B-19	天念寺 	国名勝 県史跡	中世には長岩屋と呼ばれた六郷満山寺院で、横に長い岩屋の中に堂宇が並ぶ。講堂は修正鬼会の舞台でもある。	豊後高田市
B-20	しゅじょうおにえ 天念寺修正鬼会	国無民	修正鬼会は六郷満山最大の法会。災払鬼・荒鬼が堂内で暴れるが、農村では1年の無病息災・五穀豊穡などを祈る新春の法会として大切にされている。	豊後高田市
B-21	かわなかふどう 川中不動	国名勝 県史跡	川中の大岩に不動明王の磨崖仏が彫られる。天念寺前方の長岩屋川の洪水を鎮めるといふ信仰がある。	豊後高田市
B-22	むみょうばし 天念寺耶馬・無明橋	国名勝	天念寺後背に屹立する耶馬には10の岩屋や峯道が残されている。無明橋は心に邪があれば落ちてしまうとされる。	豊後高田市
B-23	無動寺 	国名勝 県有形 (仏像16軀)	中世には小岩屋と呼ばれた六郷満山寺院で。本尊・不動明王は優しい表情をしており、「黒土不動尊」と親しまれている。鬼面の供養を今も行う。	豊後高田市
B-24	無動寺耶馬	国名勝	無動寺後背には巨大な岩壁が聳え、中には霊場が開かれていた。岩屋や無明橋がある。	豊後高田市
B-25	福真磨崖仏	県史跡	四王石屋と呼ばれた霊場の参道に刻まれた磨崖仏。各像を守護する優しい表情の不動明王像が彫られる。	豊後高田市
B-26	応曆寺 	県有形 (仏像) 県史跡 (磨崖仏)	中世には大岩屋と呼ばれた六郷満山寺院。本尊・不動明王は、柔らかな表情である。鬼面の供養を今も行う。	豊後高田市
B-27	またまゆはら 真玉湯原の温泉	未指定	太郎天が湯浴みをするために、水の神・地の神に頼んで湧き出させたと言われる、かつて行者達も憩っただろう温泉。	豊後高田市
B-28	えびす  六郷山夷岩屋の寺社境内	県史跡 県名勝	夷地区全域を境内とした六郷満山寺院。大きな岩屋の中に六所神社を構える。鬼面の供養を今も行う。	豊後高田市
B-29	中山仙境 (夷谷)	県名勝	かつて「大魔所」と呼ばれた岩峰群を一望できる。尾根は修行場となっており、岩屋・無明橋などがある。	豊後高田市
B-30	鬼が城	未指定	鎌倉時代に、御番鍛冶にも数えられた刀匠・紀新太夫行平が刀作する姿を鬼神太夫と呼んだことから一帯の岩場をそう名付けたとされる。	豊後高田市
B-31	鬼の敷き水	未指定	夷に棲んだ鬼が敷いてきたとされる水路。名水として知られる。	豊後高田市

ストーリーの構成文化財一覧表（国東市）

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ(※3)	文化財の所在地 (※4)
K-1	大不動岩屋	市史跡	切り立った耶馬の崖面にある岩屋。くにさきの鬼が出そうな岩峰群が眼前に広がる。	国東市
K-2	鬼塚古墳	国史跡	異界からくにさきへと来る船を描く壁画が残る。岩が露出しており、古来鬼が棲むと言われていた古墳。	国東市
K-3	せんとうじ 千燈寺 	県有民 (鬼会面)	修正鬼会で使われたことが分かる最古の鬼会面が残されている。	国東市
K-4	もとせんとうじ 旧千燈寺	県史跡	仁聞入寂の寺とされており、廃寺になった今もその趣を残す。霊場の大きさは六郷満山随一である。	国東市
K-5	旧千燈寺・五輪塔群	県史跡	999基の五輪塔は、坊集落の人々の霊を慰めるもので、寺院と集落の長い交流の縮図を見ることが出来る。	国東市
K-6	ごっじ 五辻不動	県史跡	耶馬上につくられた仁聞ゆかりの行場。眼下にも耶馬の岩柱が広がり、鬼が棲むような世界を体現する。	国東市
K-7	ケベス祭り 	国選択無民	岩倉八幡社で行われる奇祭。ケベスは異界から訪れた鬼の一種で、火の粉を浴びた人々には幸福が訪れる。	国東市
k-8	赤根温泉	未指定	峯道中で最も険しい耶馬の連続を越える途中にある温泉で、行者達も立ち寄ったとされる。	国東市
K-9	岩戸寺 	県史跡	蒙古軍の魁将の首塚を石で封じたことから立石山岩戸寺という。講堂は修正鬼会の舞台でもある。	国東市
K-10	岩戸寺修正鬼会	国無民	修正鬼会は六郷満山最大の法会。元々は蒙古軍の魁将の霊を鎮める目的があったが、江戸時代には集落を巡って農村の幸福を願うようになった。	国東市
K-11	岩戸集落の鬼の膳	未指定	岩戸寺修正鬼会で、各家を巡る鬼に出される膳。煮物・吸物・巻寿司・イギス（煮溶かしたオゴ（海草の一種）を固める郷土料理）などを供する。	国東市
K-12	文殊仙寺 	県史跡	岩峰に囲まれた六郷満山寺院。現在も鬼面の供養を行っている。	国東市
K-13	木造鬼大師像	市指定 (有形)	天台僧・良源が鬼に扮して民衆の疫病を払った伝説を木像にしたもの。鬼に対する憧れの強さを象徴する。	国東市
K-14	成仏寺 	未指定	龍が棲んでいたという岩屋にできたことから龍下山成仏寺という。本堂や岩屋は修正鬼会の舞台である。	国東市
K-15	成仏寺修正鬼会	国無民	修正鬼会は六郷満山最大の法会。成仏寺では3体の鬼（荒鬼・鎮鬼・災払鬼）が作られ、岩戸寺と同じく寺での修法を経て集落を巡る。	国東市
k-16	神宮寺 	県有形（法具） 市有形（焼仏）	天台宗の密教法具が今も残る。現在も鬼面の供養を行う。	国東市
K-17	行入寺 	県有形 (仏像)	本尊・不動明王像は対面の岩峰「千の岩」の岩屋に旧在したもの。現在も鬼面の供養を行う。	国東市

K-18	飯塚遺跡出土木簡	県有形 (考古資料)	奈良時代の木簡に「鬼 急急如律令」と書かれたものがあり、古代から国東で鬼の力が信仰された事を示す。	国東市
K-19	丸小野寺 	未指定	修正鬼会で使用していた講堂が残されている。	国東市
K-20	丸小野寺 子供鬼会 	市無民	国東半島の集落では、各地区の修正鬼会を子供に真似させる「子供修正鬼会」を創始した。	国東市
K-21	萱島酒造	国登録有形	国東半島の豊かな実りから作られる日本酒は、修正鬼会の鬼をもてなす時に欠かせない。	国東市
K-22	宝命寺 	県有形 (国東塔)	峯入りの際に足を掛けて法螺貝を吹く「入峯岩」が残されている。	国東市
K-23	るりこうじ 瑠璃光寺 	県有形 (仏像)	中世には杉山と呼ばれた六郷満山寺院。現在も鬼面の供養を行う。	国東市
K-24	ふたごじ 両子寺 	県史跡 県有形 (国東塔・仏像)	江戸時代には六郷山の総持院として全山の中心となった寺院。現在でも鬼面の供養を行う。	国東市
K-25	鬼橋	未指定	両子寺には鬼と呼ばれた大変力持ちの千徳坊という僧がおり、大岩を持ってきて橋を渡したという。	国東市
K-26	鬼の背割り	未指定	両子寺で鬼と呼ばれた千徳坊という僧が、岩壁を背中で割って進めるようにしたという。	国東市

### ストーリーの構成文化財一覧表（2市共通）

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
共-1	しゅじょうおにえ 修正鬼会	国無民	国東半島最大の法会。恐ろしい姿をした鬼は、神・仏・人の親しみのある交流によって、集落に幸福を運ぶ存在へと変化した。	豊後高田市 国東市
共-2	鬼の目覚まし (こしょう餅)	未指定	修正鬼会で僧侶達の眠気覚ましに振舞われる。「こしょう」は大分の方言で「唐辛子」のことであり、味噌とたっぷりの唐辛子を塗った焼餅である。	豊後高田市 国東市
共-3	鬼会面	未指定	各寺院に残る修正鬼会の面。国東半島に約100面残っており、神・仏・人の親しみのある交流の歴史を表情豊かに語ってくれる存在。	豊後高田市 国東市
共-4	しつとうい 七島蘭	未指定	現在では、くにさきでのみ生産されている七島蘭は鬼会面と括り付ける紐や、鬼の履く草鞋にも使われている。	豊後高田市 国東市
共-5	みね 峯入りの行	未指定	延べ6日かけて150kmの行程を踏破する日本最古かつ最大級の集団峯入り。修行僧たちの来訪は、各集落に加持と幸福をもたらすようになった。	豊後高田市 国東市
共-6	みね 六郷満山の峯道	未指定	六郷満山の霊場同士を結ぶ峯道。多くの行の場では、六郷満山の僧侶達の修行の足跡が残る。	豊後高田市 国東市